

開催報告

令和5年12月15日(金)13:30-15:00、研究大学コンソーシアム「学術情報流通の在り方に関する連絡会」の主催により学術情報流通に関する連続セミナー(第1回)「学術論文の著作権とクリエイティブ・コモンズの関係」を開催しました。

講師に鈴木康平特任准教授(人間文化研究機構)を招き、クリエイティブ・コモンズ・ライセンス(CCライセンス)やオープンアクセス方針の動向の概説から、学術出版社と競争法・プラットフォーム規制の適用可能性まで、事例と共に多様な角度から学術論文をオープンアクセスにする際の著作権やライセンスの考え方を解説していただきました。

質疑応答は小泉周特任教授(自然科学研究機構・東北大学)の司会で行われました。会場・オンラインから多くの質問が寄せられ、学術論文のオープンアクセス進展に伴う著作権のあり方の関心の高さを感じさせました。

■参加者数 292名(対面25名、オンライン267名)

■アンケート結果 回答数:132

○職種 大学職員(図書系):102 大学職員(研究推進系):15 URA:4
大学教員・研究職:3 出版関係者:3 その他:5

○機関 国立大学:76 私立大学:38 公立大学:12 その他:6

○セミナーは参考になりましたか

とてもよかった:84 よかった:40

あまりよくなかった:7 よくなかった:1

